
日本ロシア文学会会報 第40号 2011年3月

1. 2010年度(第60回)創立60周年記念総会報告
 2. 11月・12月理事会関連事項
 3. 大会の研究発表会での報告者、および学会賞受賞者への旅費補助に関する申し合わせ
 4. 会誌規定の改正
 5. 会員異動
 6. お見舞い
 7. 事務局移転のお知らせ
-

1. 2010年度(第60回)創立60周年記念総会 報告

第60回定例総会・研究発表会は、さる2010年11月6日(土)、7日(日)、の両日、熊本学園大学、14号館大ホールで開催されました。11月6日(土)、7日(日)の午後開催された定例総会の主な内容は以下の通りです。

(1) 第7回日本ロシア文学会学会賞表彰

沼野会長より木下裕子氏と宮崎衣澄氏に表彰状が授与された。

(2) 議長団選出

関東支部より小林潔氏、関西支部よりヨコタ村上孝之氏、西日本支部より佐藤正則氏が選出され承認された。議長団選出の冒頭に沼野会長より、昨年の会長選出に伴い副会長に諫早勇一氏、望月哲男氏両名の就任がきまったこと、監事に諫早氏と交代で井上幸義氏、沼野氏と交代で関東支部選出理事に中島由美氏が就任がきまったこと、さらに諸般の事情で編集委員長の急遽交代の必要が生じ、松本賢一氏が編集委員長就任に至ったこと、さらに北海道選出の編集委員に鈴木淳一氏の就任が決まったことが報告され承認された。

(3) 各種委員会報告

(4) 会務報告

会務報告に先立ち望月副会長より次期の事務局長(2011.4~2013.3)に諫早勇一副会長の兼任による就任が決まった旨報告があり承認された。その後事務局より会員異動(2009年11月~2010年10月)について報告があり承認された。

(5) 2009/2010年度決算ならびに2010/2011年度予算案が事務局より報告され、承認された。

(6) 2011年度大会について、慶應義塾大学日吉キャンパスで開催されることが報告・承認された。

2. 11・12月理事会関連事項

11月理事会は、11月6日(土)、7日(日)に熊本学園大学、14号館大ホールで、12月の理事会は12月26日(日)に東京大学本郷キャンパスで開催されました。主な報告事項および審議事項は以下の通りです。

11月理事会

■会員異動(入会0名、退会6名)——「会員異動」の項参照。

■2009/2010年度決算ならびに2010/2011年度予算案

事務局より報告され、承認された。

■2011年度大会について(慶應義塾大学日吉キャンパスでの開催、金田一真澄大会実行委員長が決定した)

■審議事項の報告—各種委員会活動の見直しについて

望月副会長より①委員会規模の縮小化②委員会委嘱等手続きの適正化③電子メールを活用した会議の合理化④委員会予算配分の合理化、等の見直しについての説明がなされ、原則的合意が得られた。詳しくは12月理事会において最終決定するとの合意がなされた。

12月理事会

■会員異動(入会3名、退会3名)——「会員異動」の項参照。

■2010年度総会・研究発表会会計報告

太田丈太郎大会実行委員長より報告があり承認された。

■審議事項の報告

(1) 大会の研究発表者、学会受賞者への旅費補助に関する申し合わせについて審議され、原案の通り承認された。

(2) 日本ロシア語教育研究会主催「サマーセミナー2011」への支援について審議され、原案の通り承認された。

(3) 2012年度4学会合同大会について — 実務代表者の望月副会長から紹介があり、2012年度の4学会合同大会は、秋の3連休の時期に同志社大学を幹事校として行うことを前提に準備が進んでいることが報告された。

(4) 会誌原稿執筆要項の変更について — 望月副会長より投稿の申し込み先を「事務局宛」から「編集委員長宛」に変更したいとの提案がなされたが、議論の結果「Eメールで編集委員会宛」に提出するよう修正可決された。

(5) 委員会改正の見直しについて意見交換がなされた。

(6) 2011年度大会組織委員会・実行委員会の構成について提案がなされ、了承された。

それぞれの構成員は以下の通り：

◎大会組織委員会：望月哲男（委員長）、諫早勇一、金田一真澄、野中進、井上幸義

◎大会実行委員会：金田一真澄（委員長）、望月哲男、熊野谷葉子、鳥山祐介

3. 大会の研究発表会での報告者、および学会賞受賞者への旅費補助に関する申し合わせ

1. (趣旨) 大会の研究発表会で報告を行う者、および学会賞を受賞して表彰を受ける者に対して、学会は旅費の一部を補助することが出来る。

2. (対象) 旅費支援の対象は、フルタイム（任期付きを含む）の職についていない研究者とする。ただし科学研究費補助金、大学の学会参加費補助等の形で別途旅費の補助を受けている者は除外される。

3. (支給額) 住所から開催地までの公共交通機関による旅費（1往復分）のうち、3,000円を越える部分を補助する。ただし補助の上限は研究発表会での報告者は1名につき20,000円、学会賞の受賞者は1名につき40,000円とする。

4. (決定) 旅費補助希望者は、学会報告申請の際に、所定の様式で申し込む。理事会は学会発表者の決定の際に対象者を確定し、通知する。なお、学会賞の受賞者については、受賞決定後、本人の申請を受けて支援を決定する。

5. (手続き) 対象者は大会出席の際、事務局に旅費に関する資料（領収書・航空券の搭乗証明など）を提出し、事務局はそれに基づいて、事後に旅費補助を行う。

2010年12月26日制定

4. 会誌規定の改正

(改正)

5. 投稿申込みは、毎年刊行前年の11月末日までに、A4用紙1枚限り（1,000字程度）の要旨を添えて Eメール で 編集委員長宛 に提出する。審査用原稿の提出期限は毎年1月末日とする。審査により掲載が決定した論文等の完成原稿および編集部が依頼した原稿の提出期限は、編集委員会が別に指示する。

5. 会員異動

[2010年11月理事会 12月理事会]

入会:〔氏名(所属/支部) 専攻分野(推薦者)〕

トルストゲーゾフ・アレクサンドル (青森公立大学/東北) ロシア語教育(堤正典、小林潔)

スパチェヴァ・インナ (筑波大学(院)/関東) 応用言語学(臼山利信、加藤百合)

有信優子 (大阪大学附属図書館事務補佐員/関西) ロシア文学(望月恒子、諫早勇一)

退会: **木下豊房** (関東)、**松本郁子** (関西)、**川北ナタリア** (関西)、**田村愛火** (関東)、**田原佑子** (北海道)、**米田和夫** (関西)、**輿水則子** (関東)、**出かず子** (関東)、**中村美子** (西日本)

6. お見舞い

哀悼

日本ロシア文学会を代表して、このたびの東日本大震災の犠牲者の皆さまへの深い哀悼の意を謹んで表明させていただきます。私たちが自分の専門的能力や知識を生かしてできることは残念ながらわずかですが、それでも、私たちはひとりひとりが自分にできることを通じて、被災者の皆さまの支援と日本の復興のために尽していく覚悟を固めています。

また、ロシアの数多くの同僚や友人たちからだけでなく、ほとんど世界中の同僚の皆さまから寄せられた温かい激励の言葉に対して、厚くお礼を申し上げます。「私たちは皆あなたたちといっしょです」という単純な言葉がこれほど人間的に大事な意味を持つということを私たちは初めて知り、その連帯の気持ちに強く打たれています。

2011年3月19日

日本ロシア文学会会長 沼野充義

Соболезнование

От имени всех членов Японской ассоциации русистов я выражаю глубокое соболезнование родным и близким погибших из-за землетрясения и цунами. Пользуясь своими способностями и знаниями в качестве русистов, мы можем сделать, к сожалению, смехотворно мало в борьбе с чудовищной стихией. Но мы готовы прилагать все усилия, используя свои скромные возможности, чтобы поддерживать пострадавших и способствовать восстановлению нормальной жизни в Японии.

Мы также хотим выразить сердечную благодарность не только многочисленным русским коллегам и друзьям, но также иностранным коллегам почти всех стран мира, которые прислали нам теплые слова сочувствия и поддержки. Мы впервые поняли, какое по-человечески весомое значение имеют простые слова «мы все с вами», и этим мы глубоко тронуты.

19 марта 2011 г.

Президент Японской ассоциации русистов

Мицуёси Нумано

7. 事務局移転のお知らせ

2011年4月より日本ロシア文学会事務局は創価大学より
同志社大学諫早勇一研究室に移転します。(2013年3月までの予定。)
新事務局の住所・連絡先は以下の通りです。

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷 1-3
同志社大学言語文化教育研究センター内
日本ロシア文学会事務局 (諫早勇一研究室気付)
Tel: 0774-65-7172 Fax: 0774-65-7069
(同志社大学言語文化教育研究センター気付)
E-mail: yisahaya@mail.doshisha.ac.jp

日本ロシア文学会会報 第40号 (2011年3月20日発行)
発行人 沼野 充義 編集人 日本ロシア文学会事務局
〒192-8577 東京都八王子市丹木町 1-236
創価大学 C 棟 304 号 寒河江研究室内
sagae@soka.ac.jp (2011年3月31日まで)